



僕は大人になる。

「愛おしい」と思えた瞬間、

そのすべてが、

何度も話したはずの人。

何度も聞いたはずの音。

何度も見たはずの景色。



佐藤貴広

小野まりえ

志賀圭二郎

村井克行

朝岡実嶺

根岸つかさ

提坂笑加

なすび

高橋努

監督 片岡秀明

製作総指揮 大久保一彦 プロデューサー 有川潤 脚本 大塚文義 アソシエイトプロデューサー 松山滋 新谷稔 岡谷明照 伊藤公洋 長谷川光  
撮影 はやしまこと 照明 吉角荘介 美術 村井一志 衣装 須田遥華 ヘアメイク 宮本知弥 録音 小牧修二 特機 亀田哲司 制作 石川浩之  
キャストイングサポート 石垣光代 東平七奈 サウンドトラック 三島元樹 一ノ宮頼子 小倉和博 2010/日本/ビデオ/50分/庵治石映画製作委員会



あじいし

あじ

2010年の夏、庵治と牟礼の町がなんや騒がしくなった時があったんや。  
 東京から映画のスタッフが押し寄せて来て、「石の映画を作りたい」なんて言うやないか。  
 映画作るのは勝手やけど、「石の映画」ってなんじゃ。おまえらだけでできんのかい。  
 ていうか、お前らが勝手に石の事描いて都合よく描かれたらたまったもんやない。  
 香川のおもてなしの精神と、職人のこだわりの精神、見せたらろか。

「技術指導はあの人に頼んでみよか」

「石を削る道具はあの人」

「自転車はあの人」

「エキストラ用の浴衣はあそこに頼んでみて」

「ブタの蚊取り線香なんてないですよ！」

「ないとかできへんとか、職人が口にすんな！どないしてでも探して来い！」

そんなやり取りが毎日、毎晩、街の色々な所で繰り広げられたんよ。



庵治、牟礼に住む人間、職人たちの「ホンマモン」見せたら、  
 東京のやつらもう一度言ってきよった。今度はきちんと頭を下げてな。

「みなさんと一緒に、この街の物語、住んでいる人の人生、匂い、音、景色を描いた映画を  
 作りたいです。そしてそれを世界に向けて発信したいです。力を貸して下さい。」  
 ホンマ、一番長くて一番あつという間の夏やったわ。

.....

9月初旬、実に500人以上の高松の人を巻き込んで撮影は無事に終わりました。  
 11月の終わりに開催される「さぬき映画祭2010」にショートバージョンが上映されます。  
 そして来年年明けから、国際映画祭出品、国内での劇場公開、DVD化を目指す為に長編に  
 編集して、音楽を作って、プロモーション活動を展開していきます。

その活動の為に製作資金を集めています。  
 たくさんの方のココロが集まってできたこの映画、たくさんの方の  
 ココロを動かす為には、あと少しお金が必要です。  
 是非、今一度、皆さんのお力をお貸し頂けないでしょうか。

長編版制作に向けて、  
**協賛金  
 募集中  
 です！**

\*下記口座にお振込頂きその旨お電話か、メール頂けますでしょうか（振込手数料はご負担願います）。

銀行名	店番号	口座番号	振込先名	フリガナ
三菱東京UFJ銀行 高槻支店	229	0071487	有川潤	アリカワジュン

庵治石映画製作委員会 お問い合わせ先 携帯：080-4052-8841（有川） メール：ajimovie@gmail.com

[www.ajimovie.com](http://www.ajimovie.com)